



No.93 2019.3.1

かしの木だより

医療生協さいたま

ケアステーション
かしの木
〒340-0043
草加市草加 4-5-1
048-942-7533

住み慣れたまちで安心して暮らしたい。
私たちはそのお手伝いをします。

シリーズ リハビリ

3年ほど前、糖尿病により左下肢切断し義足となったH様。術後体調不良により入院中のリハビリが十分行えず、退院後も車いすで移動していました。週3回のデイサービスで4点杖での歩行や手すりを使った階段昇降等の訓練を行っていましたが、身体が曲がり腰や右膝に痛みが出ていました。そんな時かしの木の赤尾ケアマネから「とても頑張り屋さんのH様にしっかり歩けるようになってもらいたい。」とリハビリの依頼があり、昨年11月から訪問を開始することになりました。



リハビリ開始! 歩いて買い物に行きたい! + 歩けるようになってもらいたい!

H様の希望を聞き話し合いながら3つの目標を立てて、ロフトランド杖2本を使用した歩行訓練や切断した皮膚の状態観察、筋力強化やストレッチ、立位バランス訓練などを開始しました。

- ① 身体の傾きを減らし、腰やひざの負担をなくす。
- ② 義足にしっかり体重をかける。
- ③ 立位姿勢を整え、立位で働くべき筋肉をつける。

外に出て歩けるようになってうれしい!



4点杖の時には前を見ることができなかったけど、まっすぐ前を見て歩けるようになった。

目標 1段階クリア!

最初は怖かったけど支えられるようになった!

50m先の公園まで歩けるようになった!!

次は 歩行器を使って、コンビニに行けるようになりたい!

駅近くの商店街にお買い物に行けるようになりたい! 体力をつけたい!

春に向かって希望にあふれています! これからもH様の夢がかなうよう多職種と連携して応援していきたいと思えます。

理学療法士 木場 れい子



ありがとうございました

草加西部地域包括支援センター

石川 綾子



本当にありがとうございました。

娘が1歳の時に看
に入職して37年半、
無事として医療生協
にすることができました。埼玉協同病院、さいわい診
療所、かしの木などで外来看護や訪問看護を、最
後は草加西部地域包括支援センターの職員として
勤めてきました。雨の中看護師確保のために学生
寮を訪問し、入職につなげたときの
喜びなどが昨日のことのように思い出
されます。家族の病気や自分自身の
体調など、人生の節目や自分の
仲間や地域の方々に支
えられ今日の日を迎
えることができました。

私が出会った本

看護師 砂川

「なんとめでたいご臨終」著：小笠原文雄 小学館



最期まで朗らかに過ごしたい——多くの人が望みながらも病院で最期を迎える方が多い中、家族に介護力がなくても独居でも末期がんでも「誰だって最期まで家で朗らかに生きられる!」と著者・小笠原文雄さんは説きます。

「退院したら5日の命」と余命宣告されながら5年後も元気に過ごす患者さん

や、大切な人を看取った直後にご遺体を囲み笑顔でピースするご家族、「今がいちばん幸せ」と言う末期がんの患者さんなど、「在宅医療」だからこそその笑顔と奇跡のエピソードが満載です。自分もそんな「めでたい最期」を迎えたいと願う人、大切な人にそんな最期を迎えてもらいたいと望む人、最期まで自分で介護を続けられるだろうかと不安な人も、読めば明るい気持ちになり、「笑顔でピース!」したくなること請け合いです。生きているうちに読んでみてください!

(インターネットより紹介文引用)